

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1.5年制)		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	日本事情(中上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	20 (1) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	501教室
担当教員	松下 修	実務経験とその関連資格	【松下】2013年日本語教員養成講座を修了。3年間、日本語教育機関での入管申請業務及び生活指導に従事。			
《授業科目における学習内容》						
日本での生活の中から母国との違いに興味をもち、気づく力、考える力をつける。中級レベルの長文を読み、内容を理解する。今までに学んだ基本的な表現を使って、日本語で自分の意見をまとめ、発表する。						
《成績評価の方法と基準》						
a. 素点(定期試験):70% b. 出席評価点 :20% c. 平常評価点 :10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「私の見つけた日本」(東京大学出版社)、生教材、DVD、新聞、その他の資料、プリント						
《授業外における学習方法》						
普段の生活の中から、母国と違いを見つけたり、社会の課題について考えましょう。積極的にかかわりを持ってください。						
《履修に当たっての留意点》						
グループで協力する力、まとめる力、自ら気づき、動く力をつけてほしいと思います。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	違いを考える(1)	使用教材から適宜抜粋	グループの意見をまとめる	
		各コマにおける授業予定	身近な異文化体験について考える			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	違いを考える(2)	使用教材から適宜抜粋	グループの意見をまとめる	
		各コマにおける授業予定	日本語表現			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活に馴染む(1)	使用教材から適宜抜粋	グループの意見をまとめる	
		各コマにおける授業予定	日本人の習慣や日本人の行動 グループワーク			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活に馴染む(2)	使用教材から適宜抜粋	グループの意見をまとめる	
		各コマにおける授業予定	日本人の習慣や日本人の行動 まとめる			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活に馴染む(3)	使用教材から適宜抜粋	グループの意見をまとめる	
		各コマにおける授業予定	日本人の習慣や日本人の行動 発表			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式 授業を通じての到達目標	経験を振り返る(1)		使用教材から適宜抜粋	グループの意見をまとめる
	各コマにおける授業予定	アルバイト			
第7回	講義形式 授業を通じての到達目標	経験を振り返る(2)		使用教材から適宜抜粋	グループの意見をまとめる
	各コマにおける授業予定	日本人の付き合いで困ること			
第8回	講義形式 授業を通じての到達目標	経験を振り返る(3)		使用教材から適宜抜粋	グループの意見をまとめる
	各コマにおける授業予定	日本ならではの言葉			
第9回	講義形式 授業を通じての到達目標	経験を振り返る(4)		使用教材から適宜抜粋	グループの意見をまとめる
	各コマにおける授業予定	日本の経験から学んだこと			
第10回	講義形式 授業を通じての到達目標	理解度を確認する		使用教材から適宜抜粋	
	各コマにおける授業予定	総まとめ			